

選挙 YEAR に
魅力 UP!

東京が見える 東京がわかる!

東京 民報

「東京民報」読者拡大キャンペーン中 (3月2日~10日)

反響をよぶ地方選の焦点特集

- 2/17 コミュニティバスの実現
 - 2/10 国保料滞納の差し押さえ告発
 - 2/3 東京都予算分析 都民要求にいかに対応しているか
 - 2/3 介護保険料値上げ許さず、減免・軽減を
 - 1/27 増える自治体「ためこみ金」活用を
 - 1/20 就学援助拡充・前倒し実施へ
- 昨年12/2 若者・高齢者向け家賃補助制度広がる



日本共産党の議席は、住民の命綱の議席。全国各地の党議員団が議案提案権などを駆使し、都民の声とたたかいたと結んで政治を動かしています。統一地方選挙で221人の候補者の全員当選(台東・足立含む)で、暮らし福祉を守りぬく希望ある政治を一緒に盛り上げたい。『東京民報』では、保育園や特養ホームの増設、国民健康保険の値上げ抑制、コミュニティバスやくらし応援施策の実現、防災・耐震・LGBTをめぐる新施策など、全都の共産党の頑張りを、議会論戦を熱く伝えていきます。初めて議会に挑む新人候補の活躍も追跡し、フレッシュな反響をひろげています。

ご覧のような、地方選特集や「暮らし応援力 検証・共産党議員団の実績」の記事にも、「今回の特集記事は『東京民報』ならではのものです。実態に驚きました」「怒りをもって記事を読みました。何としても選挙で勝ちたい」など、地方選の勝利への思いが寄せられ、注目が広がっています。

地方政治の焦点を次々と特集。住民要求の先頭に立つ東京の共産党(議員団)の値打ち・役割を浮き彫りに!



◆新年合併後での吉良よし子さんと上西充子法政大教授のビッグ対談

あわせて、全都各地でひろがる市民と野党の共闘の発展を求める動きを生き生きと報道。「あの人も登場!」と多士済々の方々の紙面での発言に「期待ください」。

「東京民報」自身が、一緒に日本を変えてゆく、平和と民主主義を実現するパートナーとしての役割を発揮します。

参院選での共産党躍進へ。市民と野党の共闘を切り拓く役割とともに、参院選報道をパワーアップ!

参院選にむけて、共産党の存在意義・頑張りを深掘りするとともに、東京選挙区・吉良よし子参議院議員の多彩な活動にフォーカス。連載や大型対談など反響を広げています。新年合併号の吉良さんと上西充子法政大教授の対談には「二人一人が安心して希望を持って生きられる社会を目指して、吉良さん頑張つて」などたくさんエールがよせられています。話題のpapierツクビューイング宣伝も注目です。

2008年6月に再週刊化した「東京民報」は、昨年、10周年の節目を迎えました。「東京民報」は、東京における共産党と革新・民主勢力の共同の新聞として、東京各地、各分野の運動を豊かに伝える紙面づくりに尽力。また、東京の自然や文化をさまざまな形で紹介し、読んで楽しい紙面づくりも重視しています。

いよいよ統一地方選・参院選。「東京民報」は、「東京が見える東京がわかる」首都のメディアとして役割を発揮。「しんぶん赤旗」とともに、ぜひ、ご購読ください。

東京民報 PR 版 2019年 3月2日号
発行 日本共産党東京都委員会

あなたもご購読を!
購読のお申し込みは、お名前・住所・電話番号(連絡先)を最寄りの共産党事務所、支部に申し込んでください。共産党都委員会 or 「東京民報」社ホームページからも OK。「赤旗」配達ネットワークを通じて届けられます。

毎週日曜日 発行 月 400円

読んで楽しめる特集、おもしろくためになる企画を次々!

ほかの新聞にない「東京民報」の特徴は、紙面を大きく使って、東京にかかわる話題などに思い切っただけで、東京にしかあてることができないこと。日刊紙でなく週刊紙だから、単に報道するだけでなく運動にとりくむ人びとの思いや、そこにある物語に焦点をあてて報道できます。

東京のホットな話題を大胆にとりあげる4面企画、紙面リニューアルで拡充した読者参加欄「みんなの広場」も歓迎されています。

新年合併号では、テレビのコメンテータとして活躍中の元AERA編集長の浜田敬子さんが、紙面に登場し、働く若い人たちにエールを送ってくれました。



新年合併号に Business Insider 編集長 浜田敬子さんが登場

2018年=「東京民報」再週刊化10周年から、さらに新しい挑戦へ!

●記念インタビューに登場してもらいました。

「東京民報」をまわりのみなさんにもお勧めください。



劇作家・演出家の平田オリザさん



上智大学教授の中野晃一さん



経済学者・同志社大学教授の浜矩子さん

★お祝いメッセージをいただきました。

- 伊藤真さん (弁護士)
- 川崎哲さん (ICAN国際運営委員、ピースポット共同代表)
- 川中美幸さん (歌手)
- 松本由理子さん (ちひろ美術館・元副館長)
- 松元ヒロさん (コメディアン)
- 長谷川知子さん (画家・絵本作家)
- 浜名美貴さん (前進座俳優)
- 都島伸也・拓也さん (映画監督)
- 水谷陽子さん (弁護士)
- 内田妙子さん (日本航空CCU委員長)
- 秋田操さん (羽田増便による都心低空飛行計画に反対する東京連絡会)
- 根岸京田さん (東京市民連会長)
- 中津誠さん (東京中央市場労働組合委員長)
- 柴田裕さん (特定整備路線建設会代表)
- 見城慶和さん (元夜間中学専任教員・自主夜間中学「えんぴつ」の会)
- 若松倫夫さん (画家)
- 森山康平さん (歴史研究家)
- 安山伸三さん (漫画家)
- 中山伸さん (革新都政をつくる会事務局長)
- そねはじめさん (日本共産党都議団長)
- 宮本徹さん (日本共産党衆議団員)
- 吉良よし子さん (日本共産党参議団員)

消費税・憲法・横田基地...東京ならではのたたかいを報道。草の根の多彩な運動に密着し、「他のメディアにも影響を与える新聞」に!

☆東京発のたたかいの最前線からの報道は「東京民報」でこそ

東京では、実に多彩で多様な運動がわきおこっています。

怒りひろがる消費税増税やくらし・福祉の破壊。不安増大の安倍改憲・戦争する国づくり、横田基地へのオスプレイ配備、羽田空港への低空飛行問題など、首都・東京発のたたかいの最前線からの報道は「東京民報」でこそ。

草の根からの要求実現、平和・民主主義の発展をめざす人びとに寄り添い、その運動を伝え、広げる役割を担うのが「東京民報」です。



横田基地のオスプレイ配備ノーのたたかいを連打 昨年の11月18日付は、住民の目の前で訓練飛行を告発

☆「『東京民報』を見た。詳しく話を聞きたい」と他のメディアにも影響を与える

「東京民報」でとりあげた記事が、その後、大手メディアで追跡報道されることもしばしば。

「東京民報」に、「都民の声をまっすぐに伝える新聞としてがんばって下さい」「地域

で運動する人たちの人生に注目するのが民報ならではのですね」「今後も多くの方のたたかいを激励し、世論に働きかけてください」と反響が寄せられています。